

## 人に頼らず子育てしていること

私が配布しているレポートに時々返信用のハガキを添えることがあります。女性の方から、共働きで分別する時間も無いので、住む市町村を選ぶ際には、「分別しなくてもゴミ出しできるところを選びたい」と書かれていました。

働くために自動車もスマホも所有しているけれど、子育てしながら、共働きで、月々の家賃の支払いもあります。環境への配慮が分別であることは十分理解していますが、寄せられたご意見に、子育てや共働きで、生活するためには、ますます時間の制約が厳しくなっていることが読み取れます。

### Yahoo ニュースで 取り上げられると

昨年の緊急事態宣言の際、NPO法

人キッズドアは、外資系金融機関であるゴールドマン・サックスからの寄付で、未就学児から中高生まで、9,787人、4,779世帯の子供たちに文房具を配布しました。Yahooニュースで取り上げられたところ、6日間で申し込みは終了したそうです。先日、キッズドアを訪れ、受け取った子どもたちやお母さん、お父さんから寄せられた1,835通を超えるハガキを一枚一枚すべて読ませて頂きました。

「社会には様々な人がいると子どもに教えていますが、今回の件で「世の中にはこんな優しい人もいるんだね」と嬉しそうでした。」「お絵かきが大好きな4歳児にぴったりで、すぐに塗り絵をはじめました。」「いっぱい勉強して、大人になったとき、僕が寄付できるように頑張ります」、

「コロナで気持ちが沈んでいる中、あたたかい気持ちに触れ感動しました」。子どもたちからのメッセージは、絵が描かれていたりして嬉しい気持ちで溢れていますし、お母さんやお父さんから寄せられたハガキは、しっかりと書き込まれています。

「いつもは5冊195円のノートなので campus ノート5冊に見とれてしまいました」。クレヨンやスケッチ



緊急事態宣言期間にNPO法人がお届けした文具（小学校低学年用）

ブック、定規セット、学習ノート、色鉛筆などを受け取った方からの言葉です。家庭によっては、クレヨンやスケッチブックは買えるとは思いますが、もっと他に優先すべき、例



保護者、子供たちから届いたお礼のはがき



NPO法人に伺い、1,835通を一枚一枚読ませて頂きました。

えば、食べ物などの支出があり、それで、申し込みされた方もいらっしゃるかと思います。「節約が続いていて食べたいものも食べさせてあげてないので本当に助かります」。読んでいて、皆さん、ご自身で乗り切ろうとしている、人に頼らず子育てしていることが伝わってきます。

### 食事はとれているか、 今でも通じる問い掛け

「要求なきところに予算配分なし」、行政は要求がないところは問題がない、満足していると思えます。しかし、政治は、声を上げるだけの力が弱い方々、ぎりぎり踏み止まっているので、声を上げるだけの余裕がない方々の声を受け止めて、政策を立案し、多くの方の賛同を得て実現することが役割と考えています。

1972年に日中国交正常化を成し遂げた田中角栄氏は、人に会うと、「メシ食ったか」と声を掛けていたそうです。その問い掛けは、再び、重い響きを持ち、今でも通じると思います。朝、学校で「今日、朝ごはんを食べたか、お腹は空いていないか」

とみんなに分からないようにそっと聞いてみる。そして、お母さんやお父さんたちは、最後までご自身でなんとかしようとしている。それが現実だと思います。

### 最低限の国の責務とは

2010年に高校の授業料を無償化しました。私は無償化にして良かったと思います。2019年には幼児教育が無償化され3歳以上の保育所や幼稚園に通う子供たちの保護者の負担は無くなりました。小中学校の義務教育は所得にかかわらず無償です。幼児教育も義務教育と同じように所得にかかわらず無償化することが、子供たちを分け隔てなく国が責任を持って教育することになります。所得に応じての無償化ですと、同じクラスに免除される生徒と授業料を支払う生徒が混在します。皆んなを平等に扱うことが、誰も負い目を感じないで自信を持って学校生活を送れると考えます。

以前、小学校の給食を取材し、子供たちと一緒に食べたことがあります。港区では、減農薬・減化学肥料



のお米を使用していると聞きました。足立区では、限られた予算の中で創意工夫し、レシピまで公開しています。栃木県大田原市はいち早く無償化していて、生徒には、「学校給食は、みんなが納めた税金で支えられている」と説明していると、市長から伺いました。

仕事や家庭の事情で、どうしても



都市や地方で、小学校の学校給食を取材

給食が子供たちの1日のメインの食事になってしまいがちです。NPO 法人の方に伺うと、これまでは、夏休みが終わると痩せてしまう学童が少なくはなかったが、コロナ禍による様々な理由で、休みでなくても体重が減ってしまう学童が多くなっていると伺いました。子供は家庭で育てることが望ましいと考えれば、具体



給食を頂いた後に子供たちと一緒に撮影

的には、朝食や夕食を家族でとれるように、働き方を見直す必要があるでしょう。それまでは、休みの日も、朝夕も、食べたい子供たちには、所得による格差をつけることなく、お腹一杯食べられる環境を整えることが、最低限の国の責務と思います。

すべての子どもたちに、所得にかかわらず、教育、保育、医療を提供し、衣食住、なかでも食を保障する政策を強化します。未就学児までは特に手厚く支援することが必要です。最近では、山口慎太郎東大教授が6月2日付日経新聞で指摘しています。

そして、求職者支援制度（私が法制化に向けて取り組んだ制度）の給付金を拡充して、生活に心配なく保育士やサイバーセキュリティなど専門資格が取得できる公的職業訓練を広げることも必要です。個々人の職業能力を伸ばすことで、経済を効率的に運営することを目指しながら、期間の定めのない雇用への転換を図るよう取り組みます。家族で食卓を囲むことができるように、政策を推進します。

## インターンシップ生を受け入れて



私の事務所では、夏休みや春休みに大学生のインターンシップ生を受け入れています。インターンシップとは、学生が企業や団体で仕事を通して就業経験を積むことです。インターンシップが終わった学生の感想が寄せられましたのでそのまま掲載します。

「まず私がついた代議士は、とても選挙区民を大切にしており、自ら後援者の自宅へ出向き、雑談や現在の日本に対しての意見に耳を傾けたりなど交流を欠かしていません。実際、私が後援

者訪問した時には、後援者自身から『大島さんは元気かい?』などといった言葉をかけられ、日頃から代議士が国会議員という役柄で大きな顔しているような人ではなく、後援者と近所の友人のような関係性を持っている姿勢が伺えます。地元民を大切にしていると前述しましたが、もちろん全国の国民のことも忘れてはいません。特に就職氷河期世代やいじめ、暴力を受ける社会的弱者に対しての思いやりを持っておられる方で、インターン中に何度も各省庁、企業とミーティングやレクチャーを通して、彼らの救済に関して予算の不足などを指摘したり、実際にサービスを見学しに行き、アドバイスを提供したりと熱心に考えておられました。まさに全国民の中でも救済すべき人を分かっておられる方です。また、担当していた各省庁や企業の役人の方も『大島さんのお願いというからには、張り切り切ります。』といった言葉が多くあり、本当に国民だけでなく、各業界からも信頼してもらってる方なんだと感心しました。」(M大学 法学部1年)

衆議院議員

## 大島あつし



私は、通勤途上の高崎線の中で新聞を読んでいたときに、民主党が候補者を募集しているとの小さな記事がたまたま目に留まり、公募に応じたのが議員になったきっかけです。当時の民主党には、私が敬愛する羽田孜元内閣総理大臣がいらっしゃいました。日本鋼管(現JFEスチール)での輸出営業、ソニー生命での新規顧客の開拓を担当していたことが、今でも私の活動を支えています。

### プロフィール

埼玉県生まれ / きたもと幼稚園 / 中丸小学校 / 北本中学校 / 京華高等学校 / 早稲田大学法学部卒業 / 日本鋼管(現JFEスチール)にて14年間勤務 / その後、ソニー生命にて営業職を5年間勤める / 2000年に民主党公募候補として衆議院初当選 / 2017年7期目当選 / 元内閣府副大臣 / 元総務副大臣 / 元衆議院懲罰委員長 / 前国民民主党企業団体委員長 / 現立憲民主党組織委員長 / 厚生労働委員会委員 / 日本アイルランド友好議員連盟 / 科学技術イノベーション議員連盟